

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			事業番号	038-058
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進	
		有	取組の方向性	②いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5	
		有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる教育プラン						
3	事業開始年度	平成 20 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校園(148校園)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■学校だけでは対応が困難な、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題の解決を図ることを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■スクールソーシャルワーカーを活用し、下記の取組を行う。 ・課題を抱える子どもが置かれた環境への働きかけ ・関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整 ・学校内におけるチーム体制の構築、支援 ・保護者、教職員等に対する支援、相談、情報提供 ・教職員等への研修活動					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 不登校生徒出現率	%	目標値	3.65	3.94	全国平均値	全国平均値	
		実績値	3.08	集計中			
		達成率	116%	—			
当該指標を選定した理由		■安全安心な学校を評価する指標のため					
目標値の設定根拠・算出方法		■全国的に増加傾向であるため、全国平均値以下をめざす (最新の情報を目標値として設定)					
12 スクールソーシャルワーカー活用人数	人	活動指標(成果を上げるための手段)	実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	9	14	14		
		実績値	9	9			
当該指標を選定した理由		■事業の充実のために活用人数を確保することが重要と捉えるため					
目標値の設定根拠・算出方法		■配置人数					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業	事業番号	038-058
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	21,044	21,864	46,370	21,998	87,509
財源内訳	国支出金	7,014	7,272	15,456	7,330	29,168
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	14,030	14,592	30,914	14,668	58,341
14	人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	3,280
15	年間経費(c)=(a)+(b)	22,684	23,484	48,010	23,638	90,789

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
		R2	R3	決算	予算			R2	R3	決算	予算	
16	スクールソーシャルワーカー報酬	R2	決算	15,027	10,018	10,018	スクールソーシャルワーカー保険料	R2	決算	32	22	22
		R3	予算	68,983	45,989			R3	予算	32	22	
	スクールソーシャルワーカー期末手当	R2	決算	1,670	1,114	1,114	研修会場借上料	R2	決算	0	0	0
		R3	予算	11,911	7,941			R3	予算	10	7	
	スクールソーシャルワーカースーパーバイザー等謝礼金	R2	決算	4,136	2,758	2,758		R2	決算			
		R3	予算	3,109	2,073		R3	予算				
	スクールソーシャルワーカー通勤費	R2	決算	943	629	629		R2	決算			
		R3	予算	2,449	1,632		R3	予算				
	スクールソーシャルワーカー旅費	R2	決算	190	127	127		R2	決算			
		R3	予算	1,015	677		R3	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		千円	千円
① スクールソーシャルワーカー総年間勤務時間数	時間	5,754	8,990
② 上記①にかかる年間経費	千円	23,110	19,502
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	4,016	2,169

備考 (算出についての説明等) スクールソーシャルワーカーの任用にかかる経費、人件費100%

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>■ 不登校やいじめをはじめとする支援が必要な児童生徒が増加傾向にあり、また福祉との連携の必要性が高まっている中、スクールソーシャルワーカーのニーズは非常に高まっている。人員の確保、人材の育成、資質の向上でより効果は高まる。</p>
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>■ 不登校やいじめをはじめとする支援が必要な児童生徒が増加傾向にあるなか、子どもたちの安全安心な居場所づくりのため、学校や関係機関と連携し、子どもを取り巻く環境改善に取り組むスクールソーシャルワーカーの活動が目標達成に寄与していると考えます。</p>
----	--